支援プログラム(参考様式) 作成日 作成日 1 月 10 日

法人(事業所)理念		利用者様が地域の中で安心して暮らせる力が付くような支援を目指す。										
支援方針		本人の意思決定・自己発信(困っている事、助けてほしい事、自分の思い)を促し、社会で生活できる力が付くように支援する。 また、生活場面に合わせた挨拶、服装、態度、言葉使い、決まり事など社会生活の基本を支援員がお手本となって理解を促す。それに伴い、社会生活の基本を身に付ける。										
営業時間		平日	14	時	から	18	時	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
営業時間		休日	10	時	から	18	時	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支援内容										
本人支援	健康・生活	〇健康状態の維持や改善、健康的な生活を身につけるサポート(維持・改善):来所持検温、食事(おやつ、水分補給)、毎日の観察や個別活動を行い定期的な心身の把握を図る。 〇基本的生活スキルの習得:食事、移動、排泄、持ち物の管理、身だしなみの整え方など日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得を図る。 〇危機認知スキル(疑似体験・SST):集団での生活・活動の中で社会的なルールマナーを身につける。 〇食育:農業体験やおやつ作りを行い、食への興味、社会に関する興味を広げていく。										
	運動・感覚	○公園遊び・農園作業をおこない、筋力の維持・強化を図る。 ○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上:日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 ○身体の移動能力の向上: 自力での身体移動や歩行、車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上を支援します。 ○保有する感覚の活用:保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用しながら、味覚、嗅覚なども用いり五感全てを感じられるよう、遊びなどを通して支援します。 ○感覚の特性への対応:感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに対応します。										
	■ ■対集内 、公共番組	〇1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルを視覚でわかるように掲示し、時間の認知形成を図ります。 <mark>○認知の特性についての理解と対応</mark> :感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 <mark>○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得:</mark> 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りに配慮し、季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動を行います。 										
		〇コミュニケーションの基礎的能力の向上:簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。 〇言語の受容と表出:活動、外出の際に、始まりの会・終わりの会を行い、気持ちと活動の振り返りを言語表出・受容する。 〇状況に応じたコミュニケーション:具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。										
	人間関係	〇他者との関わり(人間関係)の形成〇遊びを通じた社会性の発達〇自己の理解と行動の調整〇仲間づくりと集団への参加 一人遊びから協同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援する。集団での生活の中で人遊びや共同遊びの活動を通し自己理解・他者理解を養う。 地域の公共施設など見学、体験しルールやマナーへの知識を養う。										
	家族支援	○利用児童に関する情報の提供と定期的な支援調整 ○子育て上の課題の聞き取りと必要な助言 ○相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ○関係者・関係機関の連携による支援体制の構築							移行支援	〇地域とつな行事等)	〇地域とつながりの取組(地域の保育所等、児童館、地域住民との交流・ 行事等)	
	地域支援・地域連携	○保育所・学校・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組 ○地域の方との農業体験						境調整等に関	職員の質の向上		肝修・外部研修の派遣 き、5領域等にかかる勉強会	
主な行事等		1月:正月遊び・雪遊び 2月:節分 3月:ひな祭り 4月:お花見 7、8月:七夕飾り・水遊び 10月:法人のお祭り・ハロウィン 11月:クリスマス会										

事業所名

児童支援デイサービス つくし3